

基礎工学ソフトウェア学科目群 京都大学大学院情報科学研究科

2006 11 13

科目名 (英文名)	知識社会システム Knowledge-based Social Systems	担当者	石田 亨	配当学年	後期
講義内容	<p>知識の生成、流通、消費、蓄積の視点から、社会システムを分析・理解し、さらにそうした知識活動を促進・支援するための現時点の技術的到達点と今後の課題を選択的に講義する。</p> <p>特に、Webや電子メールなどを用いた「計算機援用コミュニケーション」(Computer-Mediated Communication)、次世代のWeb技術として研究開発が進みつつある「セマンティックWeb技術」と、その利用主体となる「エージェント技術」に焦点をあて、基礎知識を講義する。また、発展的応用の現状を受講者と共にサーベイし議論する。さらにいくつかのトピックに関しては学外からの招待講義を行う。</p>				
授業計画	項目	回数	内容説明		
	計算機援用コミュニケーション(CMC)	4	CMC, オンラインコミュニティメディアの心理学, 社会ネットワークを取り上げ, 講義, 課題発表, 招待講義を行う。		
	セマンティックWeb (Semantic Web)	4	RDF,RDFS,OWLなどの最新のセマンティックWeb技術とそれを用いたビジネスに関して, 講義, 課題発表, 招待講義を行う		
	エージェント技術 (Agent)	4	自律エージェント, 社会エージェントを概説し, そのインターネット応用(電子商取引など)に関して, 講義, 課題発表, 招待講義を行う。		
教科書	教科書は指定しない。プリントを配布する。				
参考書	<p>Sproull, L. and Kiesler, S. Connections: New Ways of Working in the Networked Organization, MIT Press, 1992.</p> <p>Cassell, J., Sullivan, J., Prevost, S. and Churchill, E. Embodied Conversational Agents. MIT Press, 2000.</p> <p>Hendler, J., 2001. Agents and the Semantic Web. In IEEE Intelligent Systems. Vol. 16, No. 2, pp. 30-37.</p>				
成績評価の基準	CMC, セマンティックWeb, エージェントに関するという知識や技能が獲得されたことを, 課題発表と試験によって評価する。				
その他	講義における議論が重要であるので, 講義への出席を重視する。				